

2019年3月期 上期 決算説明会資料



2018年11月30日
株式会社昭文社

証券コード: 9475

資料の内容

- | | | |
|---|--------------------|--------|
| 1 | 2019年3月期 上期 連結決算概要 | P3-11 |
| 2 | 2019年3月期 通期 業績の見通し | P12-16 |
| 3 | 参考資料 | P17-18 |

【本資料の記載数値・内容について】
百万円未満は切り捨てております。
%表示は小数第1位未満を四捨五入しております。

【本資料の内容についてのお問い合わせ先】
株式会社昭文社 執行役員管理本部長 加藤 弘之
電話 03(3556)8171

資料の内容

1 2019年3月期 上期 連結決算概要

2 2019年3月期 通期 業績の見通し

3 参考資料

2019年3月期 上期 連結決算概要

電子売上の売上減少、市販出版物においては返品額が減少したものの、地図商品・雑誌商品の売上減少により、売上高は5.9%の減収。構造改革による効率化、経費節減等により、原価・販管費ともに改善したが、営業・経常・四半期純損失を計上。

	2018年3月期 上期実績	2019年3月期 上期実績	増減額	増減率	2019年3月期 (上期予想)	増減額 (予想比)
売上高	4,647	4,372	-274	-5.9%	4,500	-127
営業利益 (売上高比、以下同)	-547 -11.8%	-315 -7.2%	232	-	-510 -11.3%	194
経常利益	-517 -11.1%	-276 -6.3%	240	-	-480 -10.7%	203
親会社株主に帰属する 当期純利益	-534 -11.5%	-303 -6.9%	230	-	-455 -10.1%	151
1株当たり当期純利益 (円)	-29.40	-16.72	12.68	-	-25.03	-

単位:百万円

※上記予想は2018年7月13日発表

2019年3月期 上期 分類別売上高(前期比較)

電子売上は、PND(簡易型カーナビゲーション)関連の売上減少、市販出版物は、地図商品の売上減少や前年に新シリーズを発行した雑誌商品の影響により減収

	2018年3月期上期		2019年3月期上期		増減額I	増減率C
	実績	構成比	実績	構成比		
電子売上	1,097	23.6%	1,048	24.0%	-49	-4.5%
手数料収入	24	0.5%	53	1.2%	29	120.4%
市販出版物合計	3,008	64.7%	2,781	63.6%	-226	-7.5%
地図	912	19.6%	844	19.3%	-67	-7.4%
雑誌	1,694	36.5%	1,498	34.3%	-196	-11.6%
ガイドブック	372	8.0%	391	8.9%	19	5.2%
実用書	29	0.6%	47	1.1%	17	60.8%
特別注文品	211	4.6%	255	5.8%	43	20.6%
広告収入	305	6.6%	234	5.4%	-71	-23.4%
合計	4,647	100.0%	4,372	100.0%	-274	-5.9%

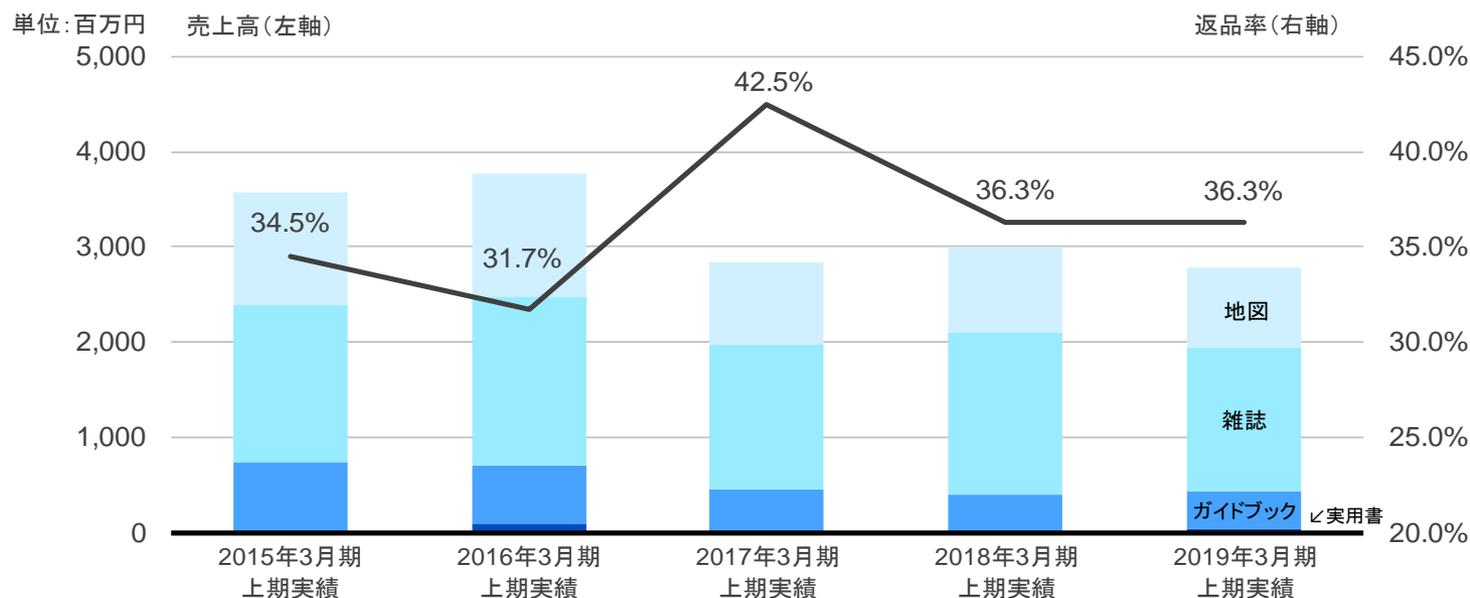
単位:百万円

2019年3月期 上期 ハイライト

- PND(簡易型カーナビゲーション)関連の売上減少、一部のスマホ向けアプリケーションの売上減少の影響を受け、電子売上は前期に比べ49百万円減少
- 市販出版物は返品抑制のため市場在庫管理を徹底したことにより、返品額は1億31百万円減少したものの、地図商品の売上減少や前年発行した雑誌商品の新刊シリーズ(ノッテミテ)があったことの影響を受け、前期に比べ2億26百万円減少
- 2018年6月、旅ナカ事業拡大のために、コールセンター業務を行う株式会社 Kuquluを買収
- 2018年9月、旅ナカサービスの新たな試みとして、グアムにて主催会社としてマリンアクティビティサービスを提供する現地法人の子会社を設立

2019年3月期 上期 市販出版物売上高・返品率の推移

売上高は減少したものの、前期に引き続き返品抑制施策に注力し、返品率は横ばい



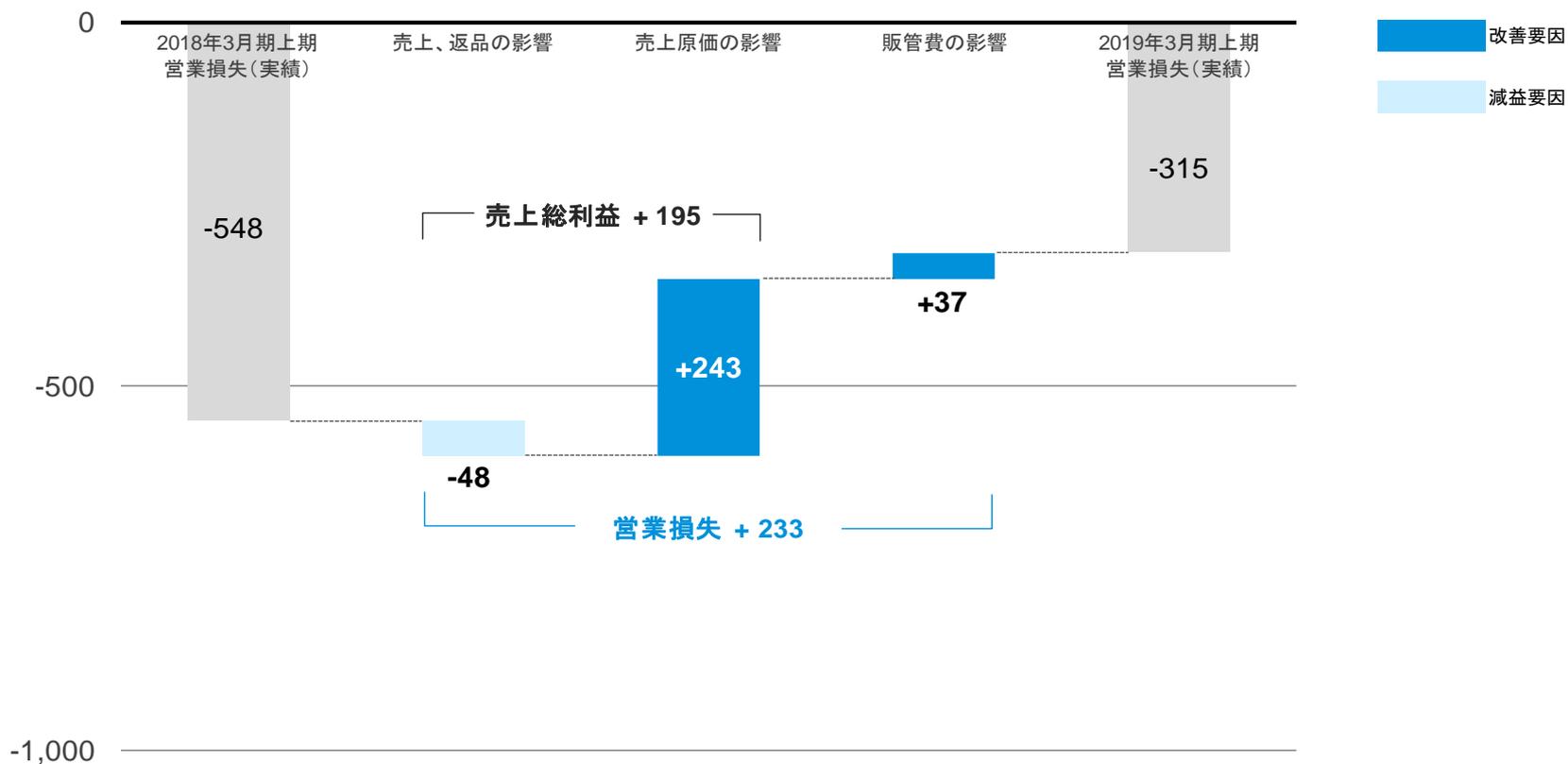
単位：百万円

市販出版物売上高合計	3,576	3,782	2,837	3,008	2,781
地図	1,189	1,292	859	912	844
雑誌	1,646	1,783	1,526	1,694	1,498
ガイドブック	727	619	437	372	391
実用書	13	86	13	29	47
市販出版物返品率	34.5%	31.7%	42.5%	36.3%	36.3%

2019年3月期 上期 営業損益の増減分析(前期比較)

売上が減少したものの、事業構造改革の効率化の効果や各種経費節減等により売上原価、販管費ともに減少し、営業損失は改善

単位:百万円



2019年3月期 上期 販管費・設備投資額・償却費の状況

販管費は人件費は増加したものの、賞与引当金や研究開発費その他の減少により前期比で37百万円の減少。設備投資は無形固定資産でソフトウェア投資を行いつつもデータベースのスリム化に伴い26百万円の減少。

単位:百万円

	2018年3月期 上期実績	2019年3月期 上期実績	増減額	増減率
売上高	4,647	4,372	-274	-5.9%
販管費合計	1,705	1,667	-37	-2.2%
販売促進費	43	43	0	0.0%
広告宣伝費	54	46	-8	-14.8%
従業員給与・賞与	579	612	32	5.7%
賞与引当金繰入額	121	102	-19	-15.6%
減価償却費	42	42	0	0.2%
研究開発費	19	8	-11	-57.5%
その他	843	811	-32	-3.8%
設備投資額合計	149	119	-30	-20.2%
有形固定資産	20	17	-3	-16.7%
無形固定資産	129	102	-26	-20.7%
償却費合計	67	63	-4	-6.0%
有形固定資産	61	59	-1	-2.8%
無形固定資産	5	3	-2	-40.2%

2019年3月期 上期 連結貸借対照表

Kuqulu買収に伴うのれんの計上などで固定資産は増加したものの現金及び預金、商品及び製品、受取手形及び売掛金の減少で流動資産が大きく減少し、資産合計は1,325百万円減少。

単位:百万円

	2018年3月期3月末		2019年3月期9月末		増減額	増減主要因
	実績	構成比	実績	構成比		
資産合計	22,188	100.0%	20,862	100.0%	-1,325	
流動資産	12,378	55.8%	10,661	51.1%	-1,716	現金及び預金、商品及び製品の減少
固定資産	9,810	44.2%	10,200	48.9%	390	株式会社Kuqulu買収に伴うのれんの計上
負債合計	4,575	20.6%	3,865	18.5%	-710	
流動負債	3,708	81.1%	2,967	76.8%	-741	支払手形及び買掛金、未払費用の減少
固定負債	866	18.9%	898	23.2%	31	
純資産合計	17,612	79.4%	16,997	81.5%	-615	
株主資本	16,828	95.6%	16,160	95.0%	-667	親会社株主に帰属する当期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少、配当金の支払による資本剰余金の減少
その他の包括利益 累計額	758	4.3%	810	4.8%	52	
新株予約権	26	0.1%	26	0.2%	0	
負債・純資産合計	22,188	100.0%	20,862	100.0%	-1,325	

2019年3月期 上期 連結キャッシュ・フロー計算書

税金等調整前当期純損失は改善したものの解約違約金の支払いがあったこと等を要因として営業キャッシュ・フローはマイナス

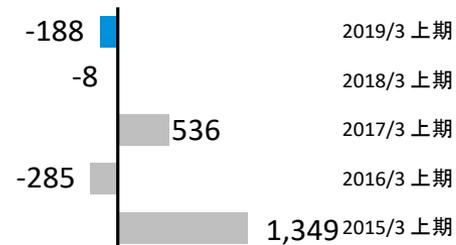
	2018年 3月期 上期実績	2019年 3月期 上期実績	増減額	増減主要因
営業活動による キャッシュ・フロー	-8	-188	-180	税金等調整前当期純損失の改善 +241 売上債権の減少額の減少 -222 たな卸資産の減少額の減少 -232 解約違約金の支払い額 -232
投資活動による キャッシュ・フロー	283	-374	-657	前期にあった有価証券償還による収入が当期 なかったことによる影響 -500 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得に よる支出 -195
財務活動による キャッシュ・フロー	-363	-363	0	
現金及び 現金同等物に係る 換算差額	—	-4	-4	
現金及び 現金同等物の 増減額(ーは減少)	-88	-931	-843	
現金及び 現金同等物の 期末残高 ※	7,811	6,201	-1,610	

単位:百万円

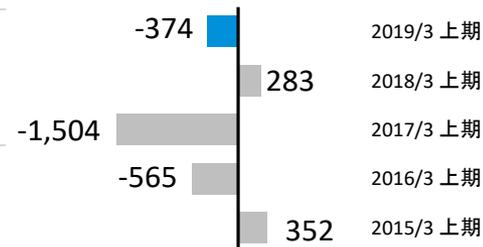
キャッシュ・フロー 過去5年間推移

単位:百万円

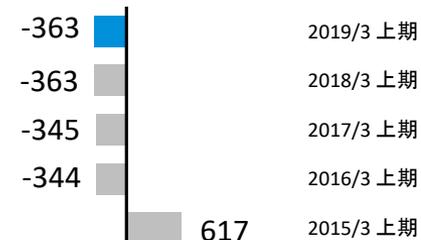
営業活動によるキャッシュ・フロー



投資活動によるキャッシュ・フロー



財務活動によるキャッシュ・フロー



資料の内容

1 2019年3月期 上期 連結決算概要

2 2019年3月期 通期 業績の見通し

3 参考資料

2019年3月期 通期 連結業績予想の修正

2018年7月13日、投資有価証券清算益(特別利益)計上のため、通期業績予想の修正を発表

単位:百万円

	2019年3月期通期予想 (5月15日 期首発表)	2019年3月期通期予想 (7月13日 発表)	増減額	増減率
売上高	9,910	9,910	0	0.0%
営業利益	90	90	0	0.0%
(売上高比、以下同)	0.9%	0.9%		
経常利益	150	150	0	0.0%
	1.5%	1.5%		
親会社株主に帰属する 当期純利益	90	145	55	61.1%
	0.9%	1.5%		

2019年3月期 通期 連結業績の見通し(前期比較)

話題性のある新製品の出版を継続するとともに、旅ナカ事業、地域創生事業に注力することで黒字達成を目指す。

	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期予想	増減額	増減率
売上高	9,158	9,910	751	8.2%
営業利益 (売上高比、以下同)	-1,060 -11.6%	90 0.9%	1,150	-
経常利益	-1,018 -11.1%	150 1.5%	1,168	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	-1,768 -19.3%	145 1.5%	1,913	-
1株当たり当期純利益 (円)	-97.28	7.98	105.26	-
設備投資額合計	361	295	-66	-18.4%
有形固定資産	54	65	10	20.2%
無形固定資産	307	230	-77	-25.2%
償却費合計	436	155	-281	-64.5%
有形固定資産	128	120	-8	-6.8%
無形固定資産	307	35	-272	-88.6%
研究開発費	41	10	-31	-76.0%

単位:百万円

2019年3月期 通期 分類別売上高の見通し(前期比較)

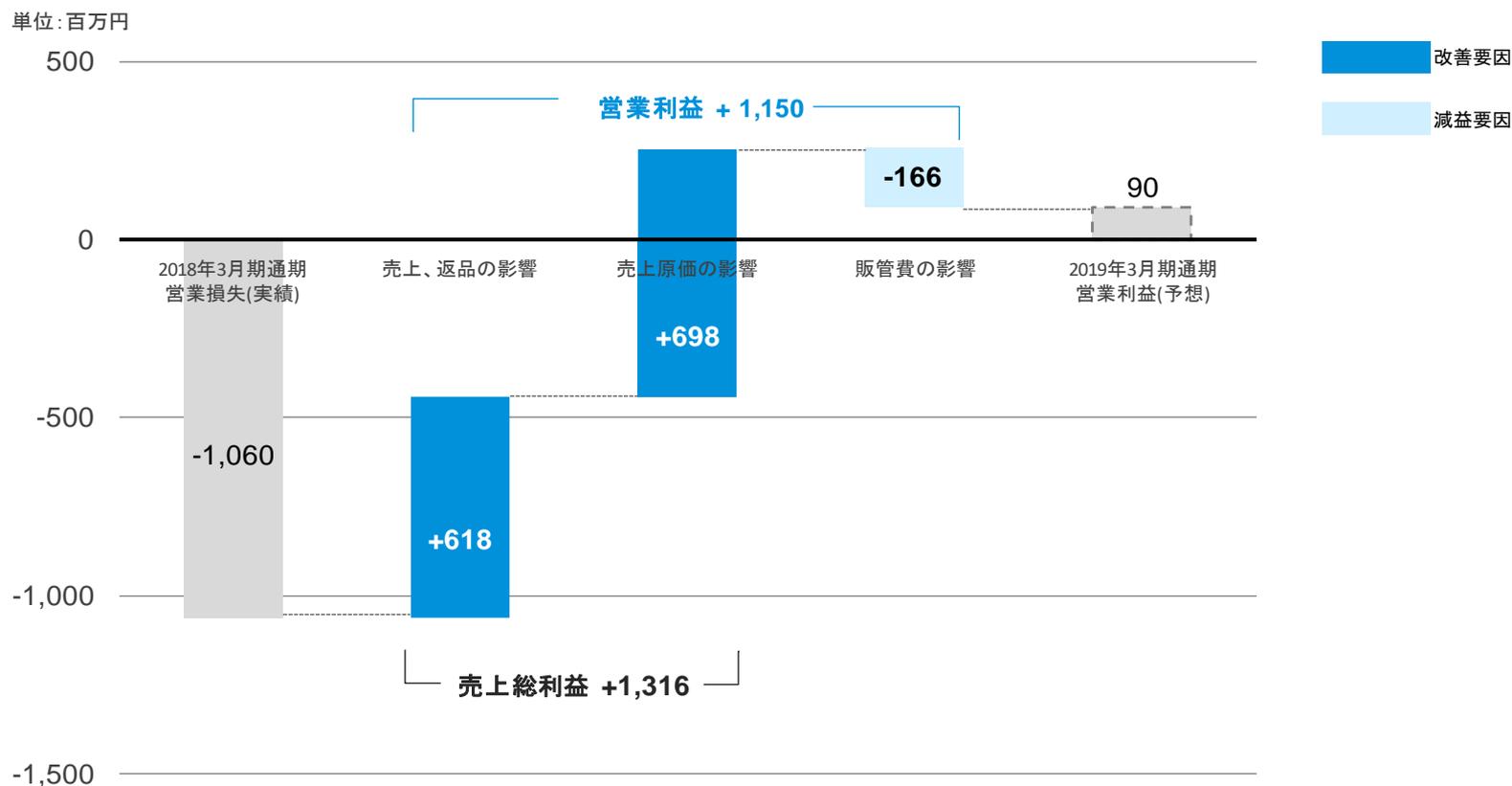
旅ナカ事業の対応地域やサービスの拡充にともなう手数料収入の増加に注力すると同時に既存事業全体での増収を見込む。

単位:百万円

	2018年3月期通期		2019年3月期通期		増減額	増減率
	実績	構成比	予想	構成比		
電子売上	2,319	25.3%	2,540	25.6%	220	9.5%
手数料収入	72	0.8%	210	2.1%	137	189.7%
市販出版物合計	5,372	58.7%	5,630	56.8%	257	4.8%
地図	1,787	19.5%	1,880	19.0%	92	5.2%
雑誌	2,804	30.6%	2,900	29.2%	95	3.4%
ガイドブック	666	7.3%	710	7.2%	43	6.5%
実用書	113	1.3%	140	1.4%	26	23.5%
特別注文品	624	6.8%	760	7.7%	135	21.8%
広告収入	770	8.4%	770	7.8%	0	0.0%
合計	9,158	100.0%	9,910	100.0%	751	8.2%

2019年3月期 通期 営業利益の増減分析(前期比較)

売上の拡大、制作拠点の集約と内製化による効率化により、営業利益黒字達成が目標



資料の内容

1 2019年3月期 上期 連結決算概要

2 2019年3月期 通期 業績の見通し

3 参考資料

当社グループ概要

当社グループは当社、連結子会社8社、持分法適用関連会社1社および持分法非適用関連会社1社で構成(2018年9月30日現在)

当社	社名	株式会社昭文社
	創業	1960年5月
	設立	1964年6月
	社員数	322人(2018年3月31日現在)
	上場市場	東京証券取引所 市場第一部
	本社所在地	東京都千代田区麹町三丁目1番地
	事業内容	当社グループは、独自開発による地図データ・ガイドデータを中核とし、それを活用した地図・雑誌・ガイドブックの企画・制作及び出版販売や、デジタルデータベースの企画・制作・販売及びそれらを活用したサービスの提供等「地図・旅行情報提供事業」を展開しております。

連結子会社	社名	株式会社昭文社クリエイティブ	株式会社マッブル・オン	株式会社トリブコン	株式会社Kuqulu
	出資比率	100%	100%	100%	100%
	事業内容	当社電子事業であるデータベースの企画・制作	モバイル(携帯・スマートフォン)向けアプリケーションソフトの企画開発・販売及びWeb広告事業	旅行関連プラットフォーム提供事業	コールセンター事業
	社名	SHOBUNSHA HAWAII CORPORATION	SHOBUNSHA GUAM CORPORATION	SHOBUNSHA SINGAPORE PTE.LTD.	GUAM OCEAN PARK CORPORATION
	出資比率	100%	100%	100%	100%
	事業内容	現地発着型ツアーの予約事業	現地発着型ツアーの予約事業	現地発着型ツアーの予約事業	マリナクティビティサービス提供事業

注意事項

本資料に記載されている当社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは発表日現在において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、多様な要因によって、これらの業績見通しと大きく異なる結果になりうることをご承知おき願います。

これらの業績見通しに全面的に依拠して、投資判断を行うことは控えられますようお願いいたします。